

## アムバンク コイン - AMBK

2020年8月  
ロンドン

## 内容

アムバンク コイン - AMBK .....	1
要旨 .....	3
イントロダクション&ヒストリー .....	3
マイニング .....	3
ゴール.....	4
ストラクチャー .....	4
ブロックチェーン .....	4
タイムライン .....	5
マスターノード .....	5
ウォレットの暗号化 .....	6
コードベース .....	6
オペレーション .....	6
イントロダクション .....	6
プレマイニング .....	7
インベスター .....	7
報酬の分配 .....	7
PoW 報酬の内訳 .....	7
PoS 報酬の内訳 .....	7
PoS .....	7
難易度の変更 .....	8
コインの生成 .....	8
ソースコード .....	8
利点 .....	8
テクノロジー .....	8
スピード .....	9
マイニング報酬 .....	9
効率性 .....	9
プライバシー .....	9
セキュリティ .....	9
コスト .....	10
代替性 .....	10
なぜ AMBK を選ぶのか? .....	10
今後について .....	10
デジタル通貨 .....	10
傾向 .....	11
次の 10 年、そしてその先へ .....	11

## 要旨

アムバンクコイン (AMBK) は、いつでも即時にプライベート取引可能で、公正なガバナンス、コミュニティインテリジェンスを備えた分散型の持続可能な暗号通貨であり、ビットコインに代わり得る暗号通貨です。

AMBK は、取引手数料を抑え、Zerocoin プロトコルを使用した高速なプライベート取引を可能にするピアツーピアのインターネット通貨です。Ambank は、バックアップとセキュリティを強化するため、zAMBK と呼ばれる、完全分散化されたオープンソースのグローバルな決済ネットワークを提供しています。

"AMBK は、zPoS や Zerocoin プロトコルをライト/モバイルウォレットに統合することで、より迅速な取引確認時間とストレージ効率の向上を特徴としており、外出先でも使用できる優れたプライバシープロトコルを実現しています。"

AMBK はネットワークの安全性を確保するため、通常の PoS とマスターノードを組み合わせた zPoS と呼ばれる史上初の匿名のステーク証明プロトコルを利用しています。

## イントロダクション&ヒストリー

インターネット上での商取引は、電子支払処理のために、信頼された金融機関に依存するようになってきました。このシステムはほとんどの金融取引には十分に機能しますが、信頼ベースの中央集権型モデルであるという固有の弱点を抱えています。

現在必要なのは、信頼ではなく暗号化証明に基づく電子決済システムであり、信頼できる第三者を必要とせず直接取引できるようにすることです。

2009年にビットコインが開発されたのは、その根底にあるブロックチェーン技術を分散型コンセンサスのツールとして活用したことが発展のきっかけとなりました。

過去数年の間に他のシステムや代替通貨が導入され、その中にはビットコインを上回る改善点を謳うものもありましたが、いずれも問題を抱えており、その多くはもはや存在すらしていません。

Ambankの目的は、スピード、効率性、プライバシー、セキュリティ、耐久性の向上に集中して、多くの問題を克服することでした。

## マイニング

マイニングとは、コンピュータが報酬を生成するための取引処理者としてブロックチェーンネットワークに参加するプロセスのことです。ビットコインが Proof of Work (PoW) と呼ばれるシステムを使用しているのに対し、AMBK は Proof of Stake (PoS) を報酬として使用しています。

ある種のハードウェアを搭載した高速コンピュータはより大きな報酬を生み出し、一部の企業はマイニングのために特別に作られたコンピュータチップを設計しています。これらのコンピュータは取引を処理することで報酬を得ています。

マイニングという言葉は、貴金属を発掘することから来ています。マイナーは数学的な問題を解き、取引正当性を確認し、取引をブロックの末尾に追加することでブロックチェーンを形成します。ブロックが取引で埋め尽くされると、ブロック内の取引を処理して確認したマイナーに報酬が与えられます。

金銭的価値の高い取引ほど、セキュリティを確保するために多くの確認が必要になります。このプロセスはマイニングと呼ばれ、デジタルの世界で新しいコインをコードから取り出すために行われる作業が、地中から金を取り出すために行われる物理的な作業に相当することから、マイニングと呼ばれています。

## ゴール

アムバンクコイン (AMBK) プロジェクトは、生き物と環境を保護しながら持続可能な農業商品の開発を支援するために開発されました。技術的・社会的な分野では、このプロジェクトは、eコマース、銀行サービス、観光、環境分野のスタートアップ企業に資金を提供しており、主なゴールは、動植物の持続可能な利用と生物多様性のための構造を生み出すことにあります。

また、ビットコインのシステムを改良し、より高速で信頼性の高い取引を提供することで、ビットコインの金貨を銀貨にするような実行可能な代替手段を提供したいと考えています。

## ストラクチャー

### ブロックチェーン

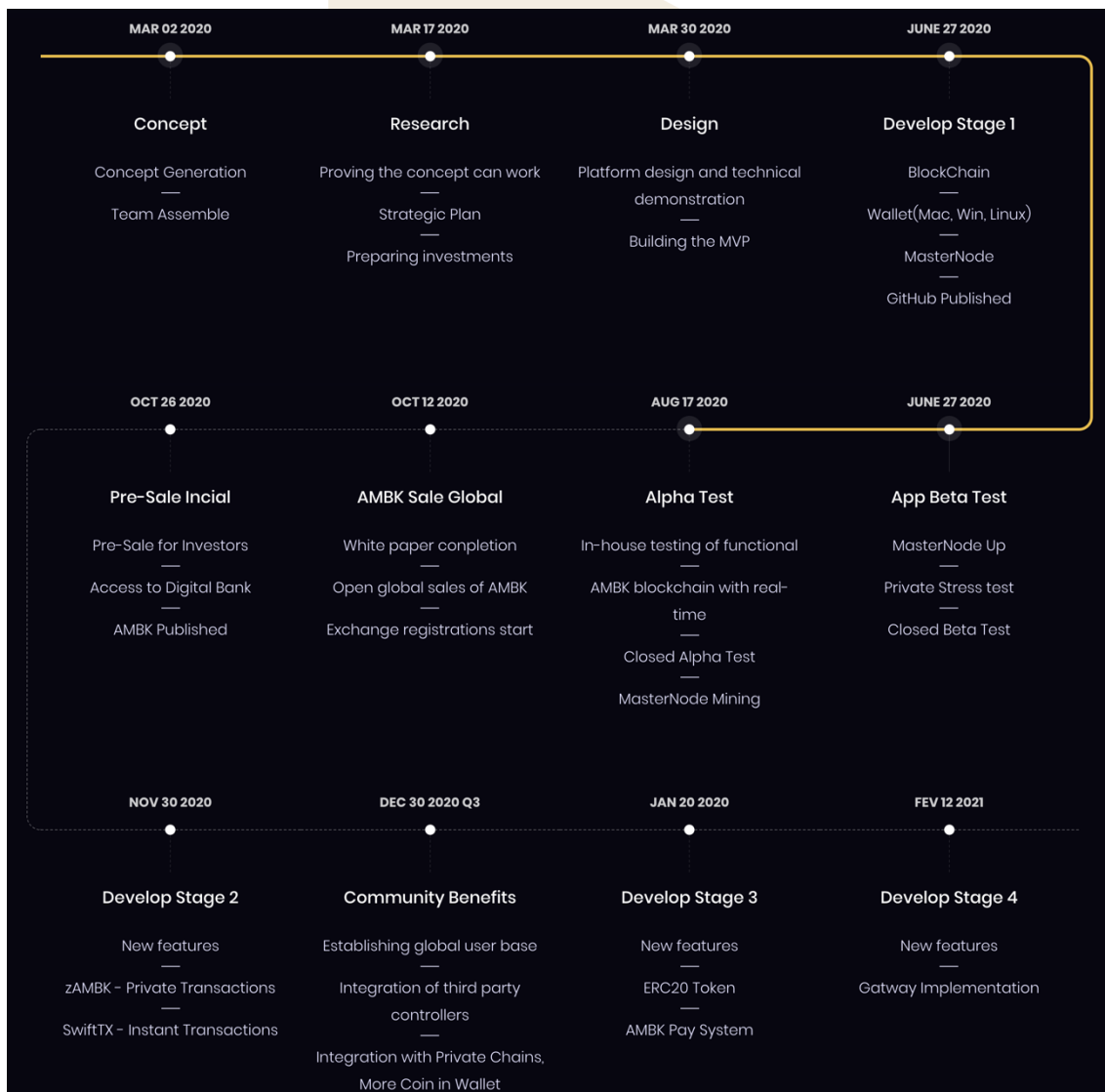
AMBK ブロックチェーンは、ビットコインよりも高い取引量に対応しています。より頻繁なブロック生成により、ネットワークはより多くのトランザクションをサポートすることが可能です。このため加盟店はより速く取引を処理することが可能ですが、より大きな商品を販売する際には、時間をかけてより多くの確認を行うことが可能です。

ブロックチェーン技術は金融取引市場の参加者が平等なデータソースを享受できるようにすると共に、取引プロセスをよりオープンで、透明性が高く、効率的なサービスになります。共有ネットワークシステムを介して証券取引に参加することで、仲介者に大きく依存していた従来の取引モデルが、分散型のフラットネットワーク取引モデルに変化しています。この画期的な取引モデルは、欧米の金融市場にて様々な利点があるとされています。証券取引のコストを大幅に削減できるほか、ブロックチェーン技術を応用することによって証券取引のプロセスをより簡潔に、より透明に、より速くすることが可能になります。

ブロックチェーン技術がデジタル通貨に利用される理由は、会計簿記の処理に利用されていたためですが、今後は、政府の総合的な管理、部門を超えた連携、機能を越えた公共サービスなどに活用されていくと考えられます。また、サプライチェーンマネジメントもブロックチェーン技術の応用の幅が広く、農産物や畜産物は出所から消費プロセスまでトレーサブルになるため、消費がより安全で信頼性が高まると言われています。同時に、知的財産権の創出、管理、取引がより簡単になり、ブロックチェーン技術は知識革新の新たな流れをもたらすことになるでしょう。

さらにブロックチェーンは、異常な取引を特定して不正行為を効果的に防止するのにも役立ちます。

## タイムライン



## マスターノード

投資家と、勝利したマスターノードが受け取るブロック報酬は、マスターノードが保存するコインの量×ネットワーク上で入札可能なコインの量に応じて変化し、ネット

ワークのニーズに基づいて報酬の調整をすることが可能になります。マスターノードとネットワークセキュリティ(ビッドブック)は均等に分散されていますが、マスターノードの数が多い場合、獲得するブロック報酬は減少し、マスターノードの数が減少すると報酬は増加します。

AMBK では、マスターノードとステークノードの報酬を動的に調整するシーソーリワードバランスシステム(シーソーリワードメカニズム)と呼ばれる革新的な変数を使用しています。

## ウォレットの暗号化

AMBK zPoS ウォレットの暗号化を使用すると、ウォレットを安全に保護して取引を確認したり、外出先で口座残高を確認したりすることが可能ですが、取引や支出を行う際にはパスワードを使用する必要があります。これにより、ウォレットを盗むウイルスやトロイの木馬からの保護だけでなく、支払リクエストを送信する前のチェックも可能になります。zPoS や Zerocoin プロトコルをライト/モバイルウォレットの統合された革新的機能により、外出先でも使用可能な優れたプライバシープロトコルを実現しています。

## コードベース

AMBK はビットコイン 0.10.x コアをベースにした暗号通貨で、他の多くの PoS デジタル通貨よりも最新のものを採用しています。この PoS 構造では、ビッドを最大限に活用するため、ユーザーはウォレットをオープンにすることで利用可能な状態にしておく必要があるため、ネットワークを強化することが可能になります。24 時間 365 日利用可能なウォレットを持っているユーザーの方が、月に 1 回か 2 回の数分間だけウォレットを開くユーザーよりも有利であることを意味します。

## 開発者

Ambank Coin は、AMBK ブロックチェーンの継続的な開発のため、経験豊富な開発者による大規模なアクティブで参加型のコミュニティを持ち、加盟店向けの開発者向けのプライベートコミュニティが存在しています。

また Ambank はミックス開発のパイオニアでもあり、より安全で、安定したコードを保っています。

## オペレーション

### イントロダクション

Ambank は、最も公平と考えられるプランを考えています。これまでのコインの中には Windows のバイナリやソースコードなしでリリースされたものもありましたが、これは安全ではありません。

ローンチの前にソースを公開し、クライアントのマシンで AMBK のテストネットと照らし合わせて実行することで、ローンチ前に全てを十分にチェック可能な状態にします。また、最も適した起動時間についても投票を行う予定です。

## プレマイニング

AMBK には、ジェネシスブロックと最初の 2 ブロックだけで、ジェネシスの有効性を確認するための 150 枚のマイニング済みコインが付属します。コインは公平にリリースされる必要があると考えているため、一人の人間(またはグループ)が、自分の好きなようにコインをコントロール出来るのは、分散化のビジョンに反しています。しかし、Ambank は人々がこのコインのメリットに気づき、アーリーアダプターとして投資して頂くことで、このコインをより良いものにするためのサービスを制作することが出来ると考えています。

## インベスター

投資家は 10,000,000,000 AMBK でマスターノードを購入可能ですが、マスターノードを導入するためには、10,000,000,000 AMBK をブロックチェーン上でロックしておく必要があります。リターンは 1 ブロックあたり 0.25 AMBK となります。

## 報酬の分配

ジェネシスブロックでは、ブロックの高さが 1 の場合、発生する報酬額はイニシャルプレメインのメモにある「100,000,000,000 AMBK」となります。

## PoW 報酬の内訳

PoW の報酬では、ブロックの高さが 2~1000 の間にある場合、0.05 AMBK がマイナーに、385.7 AMBK が開発者のアドレスに、0.25 AMBK がマスターノードに送信されます。つまり、各ブロックで 386 AMBK が生成されることとなります。

## PoS 報酬の内訳

PoS の報酬では、0.05 AMBK がマイナーではなくステーカーへ分配されることを除いて似ています。ステーカーはマイナーと似ており、PoS ブロックチェーン上のブロックジェネレーターと考えることができます。

報酬の分配には、フェーズ 0 とフェーズ 1 の 2 つのフェーズがあります。

- フェーズ 0 では、ブロックの高さは 1001~25900000 の間で、報酬は 386 AMBK で、0.05 AMBK がステーカーに、385.7 AMBK が開発者のアドレスに、0.25 AMBK がマスターノードに分配されます。
- フェーズ 1 では、ブロックの高さは 25900001-無限大の間で、報酬は 0.3 AMBK で、0.5 はステーカーに、0.25 はマスターノードに、0 は開発者に分配されます。

## PoS

Proof of Stake (PoS) の概念は、保持されているコインに応じてマイナーを行い、ブロックチェーン取引の検証が可能であることを意味します。つまり、マイナーがより多

くの暗号通貨を所有している場合、より多くのマイニングパワーがあることを意味します。

Proof of Stake (POS)を使用すると、マイナーは、マイナーが保持している量に基づいてブロック取引を採掘し、検証することが可能です。

Proof of Stake (POS)は、ブロックチェーン技術における元々のコンセンサスアルゴリズムである Proof of Work (POW)に代わるものとして作られたもので、トランザクションの確認や新しいブロックをチェーンに追加するために使用されています。

Proof of Work (POW)は膨大なエネルギーを必要とし、マイナーはコインを売却して最終的に費用を負担する必要がありますが、Proof of Stake (POS)はマイナーが保有するコインの割合に基づいてマイニングパワーが与えられます。

Proof of Stake (POS)は、マイナーがネットワークを攻撃する可能性があるという点で、マイナーにとって攻撃側が不利になるような報酬構造になっているため、リスクが低いと考えられています。

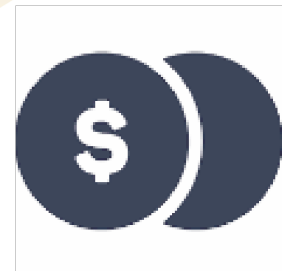
AMBK は、PoS (Proof of Stake) 技術と、MIT によってライセンスされた分散化されたオープンソースのブロックチェーンベースの暗号通貨を使用しており、代替性、トランザクションのプライバシー、コミュニティガバナンス、ネットワークのスケラビリティ、実世界で使用できることを実現することに焦点を当てており、技術的に最も先進的なオンラインデジタル通貨の1つとして世界的に受け入れられています。

## 難易度の変更

難易度はブロックごとに維持されます。AMBK のブロック時間は 60 秒です。

## コインの生成

より高速な AMBK ブロックを考慮し、ビットコインの生成軌跡を適切に模倣するために、PoW フェーズでの最大コイン生成量は 100,385,614 AMBK、PoS フェーズでの最大コイン生成量は 10,000,000,000 AMBK となっています。



## ソースコード

ソースコードはこちらからご確認いただけます:

<https://github.com/ambankcoin/Core-All-OS>

## 利点

### テクノロジー

AMBK は、PoS (Proof of Stake) 技術と、MIT によってライセンスされた分散化されたオープンソースのブロックチェーンベースの暗号通貨を使用しています。



## スピード

ビットコインのネットワーク上では取引確認に10分を要しますが、これは現在のビジネスでは非常に遅いといえます。一方、AMBKの取引は10秒で確認され、瞬時に取引可能です。

AMBKは、Zerocoinプロトコルを使用した高速なプライベート取引に焦点を当てたオープンソースの暗号通貨であり、低取引手数料&環境にやさしいのが特徴です。高速確認は必ずしもビットコインの遅い確認ほど安全ではありませんが、取引が超安全である必要のない小規模なビジネスにとっては非常に便利な機能となっています。平均的なAMBKブロックの所要時間は2.5分で、ビットコインの10分の4分の1です。そのため、加盟店がビットコインと同じくらいの安全性を求めるとすれば、4回のAMBK確認を待つことができますが、ほとんどの加盟店では、少額のAMBKであれば1回の確認で十分だと言えます。

## マイニング報酬

アムバンクコイン(AMBK)は、マスターノードに投資する投資家に報酬を与えます。AMBKマスターノードは、1分あたり0.25AMBK、つまり1ヶ月あたり約1,000万AMBKの報酬を保証しており、AMBKは毎月の投資収益を上げることが可能です。マイナーは現在、1ブロックあたり25個のAMBKを新たに獲得していますが、これはおよそ4年ごと(84万ブロックごと)に半減していきます。そのため、AMBKネットワークでは、ビットコインの4倍の通貨単位である8,400万枚のAMBKが生産される予定です。

## 効率性

AMBKでは、Proof of Workの代わりにBlackcoinの改良された「Proof of Stake 3.0」プロトコルを使用しているため、PoWよりも効率的にネットワークを安全に保つことができます。

## プライバシー

投資家向けのアムバンクコイン(AMBK)は、非常に安全性が高いです。公開取引と非公開取引を組み合わせた他のコインと比較すると、AMBKのプライバシー機能の利用率は4倍から10倍となっています。

AMBKは、取引の匿名性を最大限に高めるための高度な知識証明型のプライバシー技術を使用し、開発者や暗号家の強固なチームによってサポートされており、世界で最もプライベートな仮想参加証明暗号です。他の競合するプライバシー通貨のほとんどは不必要となったプルーフオブワークのマイニングを採用していますが、アムバンクでは、革新的な技術を実現しています。

## セキュリティ

暗号通貨も例外ではなく、誇大広告、パスワードなどに加えて、セキュリティは新興産業の礎の一つです。

批評家は、ブロックチェーンはセキュリティ、スケーラビリティ、分散化を同時に実現することはできないと主張していますが、暗号通貨に関して言えば、セキュリティは包括的な用語です。暗号通貨取引所のセキュリティやクリプトウォレットのセキュリティを指すこともあります。

アムバンクコイン(AMBK)は、安全性が高く、インスタントで、透明性があり、追跡不可能なデジタル暗号通貨です。透明性を高めるオプションだけでなく、プライバシー技術と Zerocoin プロトコルを提供しており、世界の商業および金融機関との統合することになると考えられています。この高度な技術は、電子商取引(E-Commerce)、銀行のサービス、観光市場、支払いや引き出しを行うための ATM にも統合が可能です。

## コスト

AMBK は、PoS の効率性により、通常は数ペニーの数分の 1 という信じられないほど低い取引手数料を持っています。つまり、これまでビットコインを使用して存在していたマイクロランザクションビジネスの価格設定にも最適です。

## 代替性

代替、交換が可能であることは、アムバンクの進歩の Proof of Stake(PoS)技術の使用によって保証されています。

## なぜ AMBK を選ぶのか？

AMBK ネットワークの実装に利用されている、現代的で安全、迅速、プライベート、安全な方法は、ビットコインや他の最近の暗号通貨よりも大きな利点を持っています。ビットコインのネットワーク上での確認に必要な 10 秒は、ほとんどのビジネスでは受け入れられず、AMBK の速度は瞬時の取引を可能にします。

デジタル決済や暗号通貨の利用が拡大しているため、暗号通貨での支払いはよりシンプルになっています。人々が分散型の金融サービスへの信頼が高まっているからこそ、使い勝手がよく信頼できるシステムを作ることが重要なのです。

技術の発展に伴い、従業員が給与を暗号通貨で要求することが可能になるかもしれません。そのような場合、AMBK はそのスピードと使いやすさから優れた選択肢となるでしょう。

## 今後について

### デジタル通貨

ビジネス界では、ビットコインをオタク、IT 狂信者、個人投資家などの実験と見ており、伝統的な技術や金融機関はこの業界を避けていました。しかし、暗号通貨はもはやそうではなくなってきました。

暗号通貨にとって、2019 年は重要な年でした。フェイスブックが 6 月にホワイトペーパーを通じて暗号通貨について取り上げたことで、業界は注目を集めました。

それでも、2017 年を昨日のように鮮明に覚えている人もいます。ビットコインの価格が跳ね上がり、1 年で 1,000 ドルから 20,000 ドルまで上昇しました。このボラティリティ、および他の問題のため、一部の国際政府はビットコインを金融の安定性に対する脅威であると考えました。

しかし、今後はより多くの企業が暗号通貨を使い始めることが予想されています。

## 傾向

ノンキャッシュのトレンドが暗号通貨に与える影響

世界は急速にノンキャッシュ社会に向かっており、もはや概念ではなく、現実のものとなっています。特に Covid-19 パンデミックはこの動きを加速させ、今では店やバー、レストランでは現金での支払いを受け付けないのが一般的になっています。

多くの人々がクレジットカードやデビットカードを持ち歩き、スマホで支払うなど、キャッシュレス社会はすでに現実のものとなっています。

デジタル決済の選択肢は日々増えています。ATM を使ってお金を引き出すという発想は、もうすぐ過去の遺物になるかもしれません。

デジタル通貨は、場合によってはスピードとセキュリティを向上させることができます。ある国から別の国へお金を送るときに、今までは手数料が高く、取引が解決するまでに数日かかっていました。しかし、暗号通貨を使えば、人々は国境を越えて瞬時に安くお金を送ることが可能なのです。

## 次の 10 年、そしてその先へ

次の 10 年に突入する暗号通貨は、はるかに優れた通貨になると考えられます。暗号通貨業界は、高いレベルで次の 10 年のステップに入ります。より効率的な決済システムと金融取引につながる技術的な進歩が不可欠になるでしょう。AMBK は、その準備ができています。